



2023年6月22日

各位

上場会社名 株式会社 ニッチツ
代表者 代表取締役社長 松原 祐生
(コード: 7021 東証スタンダード市場)
問合せ先責任者 代表取締役専務取締役 管理本部長
兼経営管理部長 艸薙 望
(TEL. 03-5561-6200)

(訂正・数値データ訂正)「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2023年5月12日に公表いたしました「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、記載内容の一部訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

公表後に添付資料の記載の一部に誤りがあることが判明いたしましたので、当該項目の訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

- ① 添付資料の11ページ目「3. 連結財務諸表及び主な注記 (4) 連結キャッシュ・フロー計算書」
【訂正前】

連結キャッシュ・フロー計算書 添付

【訂正後】

連結キャッシュ・フロー計算書 添付

- ② 「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項」

【訂正前】

(連結貸借対照表関係)

1 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
有形固定資産減価償却累計額	14,357,596千円	<u>14,485,351千円</u>

【訂正後】

(連結貸借対照表関係)

1 有形固定資産の減価償却累計額

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
有形固定資産減価償却累計額	14,357,596千円	<u>14,297,304千円</u>

③ 「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項」

【訂正前】

（連結損益計算書関係）

4 事業構造改革費用

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

資源関連事業に係る結晶質石灰石事業の終了したことに伴い、当該事業に関わる事業構造改革費用67,646千円を特別損失に計上しております。その内訳は、事業構造改革引当金繰入額15,082千円、販売間接費振替額6,394千円、製造原価振替額46,169千円であります。

【訂正後】

（連結損益計算書関係）

4 事業構造改革費用

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

資源関連事業に係る結晶質石灰石事業の終了したことに伴い、当該事業に関わる事業構造改革費用67,646千円を特別損失に計上しております。その内訳は、主に人件費等であります。

④ 添付資料の22ページ目「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項」

【訂正前】

（セグメント情報等）

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日） 添付

【訂正後】

（セグメント情報等）

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日） 添付

以上

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△59,644	△231,222
減価償却費	359,773	354,220
減損損失	720	-
災害による損失	-	106,670
事業構造改革費用	309,488	67,646
受取保険金	△198,878	-
資産除去債務戻入益	-	△26,320
関係会社出資金売却損	-	46,244
受注損失引当金の増減額(△は減少)	54,550	83,835
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△810	2,790
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	6,648	△4,132
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21,396	△66,391
事業構造改革引当金の増減額(△は減少)	68,351	△68,351
受取利息及び受取配当金	△44,724	△51,132
支払利息	8,759	8,365
持分法による投資損益(△は益)	△115,234	△25,323
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,625	△4,754
有形固定資産処分損益(△は益)	7,754	18,043
投資有価証券評価損益(△は益)	1,407	-
売上債権の増減額(△は増加)	△150,730	72,253
棚卸資産の増減額(△は増加)	81,500	△164,275
未収入金の増減額(△は増加)	14,409	17,324
長期前払費用の増減額(△は増加)	55,012	24,757
仕入債務の増減額(△は減少)	△23,436	△15,894
未払費用の増減額(△は減少)	△28,945	144,294
その他	△360,283	△159,045
小計	5,460	129,604
利息及び配当金の受取額	101,278	51,732
利息の支払額	△8,882	△8,495
保険金の受取額	155,110	103,208
災害損失の支払額	△157,330	-
法人税等の支払額	△37,272	△34,843
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,364	241,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4,301	△4,629
関係会社出資金の売却による収入	-	411,321
有形固定資産の取得による支出	△371,370	△549,457
有形固定資産の売却による収入	1,705	7,230
無形固定資産の取得による支出	△97,811	△3,292
その他	△24,496	1,784
投資活動によるキャッシュ・フロー	△496,275	△137,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	50,000
長期借入金の返済による支出	△40,160	△38,840
自己株式の売却による収入	11,635	18,653
自己株式の取得による支出	△114	△112
配当金の支払額	△31,815	△63,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,454	△33,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	122	86
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△498,242	70,329
現金及び現金同等物の期首残高	4,840,288	4,342,045
現金及び現金同等物の期末残高	4,342,045	4,412,374

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失(△)	△59,644	△231,222
減価償却費	359,773	354,220
減損損失	720	-
災害による損失	-	106,670
事業構造改革費用	309,488	67,646
受取保険金	△198,878	-
資産除去債務戻入益	-	△26,320
関係会社出資金売却損	-	46,244
受注損失引当金の増減額(△は減少)	54,550	83,835
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△810	2,790
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	6,648	△4,132
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21,396	△66,391
事業構造改革引当金の増減額(△は減少)	68,351	△68,351
受取利息及び受取配当金	△44,724	△51,132
支払利息	8,759	8,365
持分法による投資損益(△は益)	△115,234	△25,323
有形固定資産売却損益(△は益)	△1,625	△4,754
有形固定資産処分損益(△は益)	7,754	18,043
投資有価証券評価損益(△は益)	1,407	-
売上債権の増減額(△は増加)	△150,730	72,253
棚卸資産の増減額(△は増加)	81,500	△164,765
未収入金の増減額(△は増加)	14,409	17,324
長期前払費用の増減額(△は増加)	55,012	24,757
仕入債務の増減額(△は減少)	△23,436	△15,894
未払費用の増減額(△は減少)	△28,945	144,294
その他	△360,283	△158,555
小計	5,460	129,604
利息及び配当金の受取額	101,278	51,732
利息の支払額	△8,882	△8,495
保険金の受取額	155,110	103,208
災害損失の支払額	△157,330	-
法人税等の支払額	△37,272	△34,843
営業活動によるキャッシュ・フロー	58,364	241,204
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△4,301	△4,629
関係会社出資金の売却による収入	-	411,321
有形固定資産の取得による支出	△371,370	△549,457
有形固定資産の売却による収入	1,705	7,230
無形固定資産の取得による支出	△97,811	△3,292
その他	△24,496	1,784
投資活動によるキャッシュ・フロー	△496,275	△137,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	50,000
長期借入金の返済による支出	△40,160	△38,840
自己株式の売却による収入	11,635	18,653
自己株式の取得による支出	△114	△112
配当金の支払額	△31,815	△63,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,454	△33,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	122	86
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△498,242	70,329
現金及び現金同等物の期首残高	4,840,288	4,342,045
現金及び現金同等物の期末残高	4,342,045	4,412,374

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,743,640	2,399,030	136,834	745,042	8,024,547	—	8,024,547
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,745	322	—	11,040	29,108	△29,108	—
計	4,761,386	2,399,352	136,834	756,083	8,053,656	△29,108	8,024,547
セグメント利益又は損 失（△）	△252,681	136,155	39,938	33,685	△42,901	3,904	△38,997
セグメント資産	<u>8,410,350</u>	<u>1,645,451</u>	2,402,435	869,500	13,327,737	1,660,210	14,987,947
その他の項目							
減価償却費	243,633	73,098	15,855	15,337	347,925	6,295	354,220
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	644,634	109,521	11,796	41,841	807,793	5,330	813,124

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去10,040千円、全社費用△6,135千円
であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、全社資産1,660,210千円であります。全社資産は、主に報告セグメントに
帰属しない長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額5,330千円は、本社機能運営管理に使用する工具器具
備品及びソフトウェアであります。
 - (4) 報告セグメントとした機械関連事業の「セグメント資産」として記載している残高のうち、有形固定資
産の残高は2,116,706千円、無形固定資産の残高は56,689千円です。
2. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：千円）

	機械関連事業	資源関連事業	不動産関連事業	素材関連事業	全社・消去	合計
減損損失	239	68,775	—	—	481	69,496

(注) 資源関連事業の減損損失68,775千円は特別損失の事業構造改革費用に含めて表示しております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,743,640	2,399,030	136,834	745,042	8,024,547	—	8,024,547
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17,745	322	—	11,040	29,108	△29,108	—
計	4,761,386	2,399,352	136,834	756,083	8,053,656	△29,108	8,024,547
セグメント利益又は損 失（△）	△252,681	136,155	39,938	33,685	△42,901	3,904	△38,997
セグメント資産	<u>8,397,300</u>	<u>1,658,501</u>	2,402,435	869,500	13,327,737	1,660,210	14,987,947
その他の項目							
減価償却費	243,633	73,098	15,855	15,337	347,925	6,295	354,220
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	644,634	109,521	11,796	41,841	807,793	5,330	813,124

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間取引消去10,040千円、全社費用△6,135千円
であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額は、全社資産1,660,210千円であります。全社資産は、主に報告セグメントに
帰属しない長期投資資金（投資有価証券）及び管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額5,330千円は、本社機能運営管理に使用する工具器具
備品及びソフトウェアであります。
 - (4) 報告セグメントとした機械関連事業の「セグメント資産」として記載している残高のうち、有形固定資
産の残高は2,116,706千円、無形固定資産の残高は56,689千円です。
2. セグメント利益又は損失（△）は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）

（単位：千円）

	機械関連事業	資源関連事業	不動産関連事業	素材関連事業	全社・消去	合計
減損損失	239	68,775	—	—	481	69,496

(注) 資源関連事業の減損損失68,775千円は特別損失の事業構造改革費用に含めて表示しております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

該当事項はありません。